

P1-070

幼児の咀嚼能力の向上と成長の関連性

原 正美

昭和女子大学 生活科学部 管理栄養学科

【目的】

3年間追跡した幼児の咀嚼能力を測定し、性別や年齢による違いを明らかにして、咀嚼能力の向上と成長の関連性を検討することを目的とした。

【方法】

東京都内の幼稚園に通う3歳4歳5歳の3年間追跡した男児女児を対象とした。咀嚼能力の指標として咀嚼判定用ガムを用いた。咀嚼判定用ガムの色調変化である赤色測定値をカラーリーダーで測定し、咀嚼能力の指標とした。体重と身長から体格指数として、カウプ指数を用いた。更に咀嚼能力と柔らかい食品と硬い食品との関連性を検討する為、好き嫌いについて調査した。実践女子大学生活科学部倫理委員会の承認番号2012017を得た。

【結果】

男児女児別の赤色測定値とカウプ指数において、3歳4歳5歳時の男児女児では相関は認められなかった。男児女児別の赤色測定値と体重増加率の関係では、男児は4歳時の赤色測定値と3歳から4歳の体重増加率に正の相関がみられた。女児では4歳時の赤色測定値と3歳から4歳の体重増加率に正の相関がみられ、また5歳時の赤色測定値と3歳から5歳の体重増加率にも正の相関がみられた。せんべいについては、各年齢別に硬いせんべいを選択した児の平均赤色測定値と、柔らかいせんべいを選択した児の平均赤色測定値を比較した結果、3歳時では有意差はなかった。4歳時では硬いせんべいを選択した児の赤色測定値は柔らかいせんべいを選択した児に比べ高値だった。5歳時では硬いせんべいを選択した児の赤色測定値は柔らかいせんべいを選択した児と比べ、高値を示す傾向が見られた。

【考察】

男児は4歳前後の時期に咀嚼能力が高まるピークがあり、その後はゆっくりと咀嚼能力が高くなった。女児は3歳時から4歳時、5歳時と徐々に咀嚼能力が高まること示された。また、咀嚼能力は男女とも成長と共に高まるが、高まり方に性差が認められた。このことは体重増加率とも相関していることから、咀嚼に関する食事指導は男児女児別に年齢を考慮する必要がある。せんべいを検討したところ、3歳の時点では嗜好性が重視され、4歳5歳時では咀嚼能力の向上が好む食品の選択に影響することが示された。

P1-071

思春期のクローン病患者と担当教員が、学校生活において感じる困難

田中 由紀子、高田 裕子、瓦井 理紗、猪瀬 千里、黒田 光恵

自治医科大学とちぎ子ども医療センター

【目的】

思春期のクローン病（以下CDとする）患者と、患者の通う学校の担当教員が学校生活において困難に感じている内容を明らかにする。用語の定義：思春期とは、小学5年生以上中学3年生以下をさす。担当教員とは患者が在籍するクラスの担任教諭と養護教諭をさす。

【方法】

平成27年3月～5月に、関東にある小児専門病院の外来に通院する思春期のCD患者と、その患者が在籍する学校の担当教員を対象に調査を行った。対象患者と保護者に、研究内容と倫理的配慮について口頭と文書を用いて説明し、同意を得た。対象患者に「病気があることで学校生活において困難に感じたこと」を、主に学校での食事、栄養剤の摂取、内服、体調管理、友達との関係について、半構成的な面接を実施した。対象患者から同意を得た上で、在籍校の担当教員に「CDの生徒の対応で困難に感じること」について質問紙調査を実施した。録音した面接内容から逐語録を作成し、コード化して質的記述的研究法を用いて分析した。質問紙で得られた回答を内容分類した。本研究は、研究者の所属する施設の倫理審査委員会の承認を得て実施した。

【結果】

対象患者は3名、13歳から15歳であった。学校生活において感じる困難について、5つのカテゴリーが抽出された。栄養剤を飲む際に注目されて恥ずかしいなど【人の目が気になる】、友達と同じものが食べられないことで【友達と同じ事ができない】、学校でお腹が痛くなることを心配し【体調を気にする】、栄養剤の飲み方や病気を誰にどう伝えるかについては【自分のことは自分で決めたい】、調理実習や学校の行事の際に【周囲の協力が必要】と感じていた。質問紙で回答が得られた担当教員は5名、うち担任教諭が2名、養護教諭が3名であった。担任は、「他の生徒に病気のことをどう伝えるか」を困難に感じていた。

【考察】

学校生活を送るうえで、周囲の協力が必要だと自覚していた。しかし、大人からの干渉を離れたいと思う思春期の患者にとって、協力を得なくてはならないことは苦痛となっていた可能性がある。また、療養行動に関しては自分で決めたいと思っていた。制限があるなかでも患者の主体性を尊重し、続けたいと思うことが出来るよう支援することが重要である。復学にあたり、患者と担当教員が同様に、級友への説明に関する悩みがあった。患者と関係者間で病気を誰にどう伝えるかを話し合うことが必要である。